

# 講義・講演・工場見学等実施報告書

大学改革推進事業（COC+）

食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム		
実施日時	令和元年12月20日（金） 12:40～13:50	
実施場所	電子制御工学科1年教室	
実施形態	①講義・講演	
対象学生	電子制御工学科 1年 36名（43名中7名欠席）	
担当者	鹿児島高专	企業・団体等
	地域共同テクノセンター 副センター長 准教授 吉満 真一 一般教育科 教授 白坂 繁	所属：株式会社A・R・P鹿児島事業所 ・役職：鹿児島事業所長 氏名：吉松 正和 氏 ・役職：開発グループ 氏名：矢野 征誉 氏
実施内容	<p>先ず、吉松氏による会社の概要の説明があり、どのような製品を作っているのかの説明があった。次に本校電気科卒業生である矢野氏から、入社後の体験が語られた。</p> <p>事後のアンケートによると、通信、移動関係の新製品の話には興味・関心が持てたようである。また、医療福祉関係も気になるようであった。</p> <p>その後、班分けをして、ストロー20本と、接着テープで高いタワーを作るというワークショップが実施された。基本的なアイデアは、ほぼ同じであったが、テープ本体を、タワーを固定するための重りとして使うという秀逸なアイデアを出した班があり、注目された。</p> <p>このような活動は学生にとっても、よい刺激になったようで、今後の学習の一助になると期待でき、良い講義であった。</p>	
		